

新規大会「全国9人制トップリグ(仮称)」の創設について

新規9人制競技会『全国9人制トップリグ』(仮称)開催概要(案)

1. 大会名称 『全国9人制トップリグ』(仮称)
2. 開催趣旨 平成21年度より『スーパー9・オールスターズフェスティバル』、さらに平成23年度第66回山口国体より9人制の部の廃止にあたり、国内競技委員会としては、9人制バレーボールのさらなる活性化と普及に寄与することを目指し、9人制の最高権威のリーグ戦として位置づけ開催する。
このリーグ戦はトップ、セカンド、ブロック(当面はセカンドブロックまで)の3部制とすることにより、トップチームのみならず地域に密着したバレーボールクラブの育成を図る。
3. 主催 (財)日本バレーボール協会、9人制トップリグ実行委員会
4. 主管 東西実行委員会、開催地協会、開催地実業団連盟・クラブ連盟
5. 後援 未定
6. 参加資格 (財)日本バレーボール協会登録規程により、それぞれの種別に有効に登録された選手およびベンチスタッフで構成されるチーム。(全てのカテゴリーの9人制チームを対象とする)
7. 競技規則 当該年度(財)日本バレーボール協会9人制競技規則
8. 運営方法
 - 1) トップリグ(仮称)
東西各6チーム、2回戦総当りリーグ、男女別開催。
最終開催は決勝ラウンドとし、東西、男女合同開催(24チーム)。
 - 2) セカンドリーグ(仮称)
東西各6チーム、2回戦総当りリーグ、男女別開催。最終開催はトップリグ決勝ラウンドに東西リーグの上位3チームが出場とし、東西、男女合同開催(12チーム)。
 - 3) トップリグ、セカンドリーグの入れ替え戦は決勝ラウンドにおいて行う。
9. チーム選考 平成21年度全日本男女総合選手権等をもとに選考委員会で選考を行う。
10. 予算【収入】 740万円 JVA補助金 500万円 + チーム参加料 240万円
【支出】 740万円 東西ラウンド 440万円 + 決勝ラウンド 300万円
11. 開催日程
 - 1) 東西ラウンド: 前期(4月~8月)、後期(9月~11月)
 - 2) 決勝ラウンド: 12月第2週目に開催
12. 会場 ◇東西ラウンド; 企業体育館 ◇最終ラウンド: 6面の公営体育館
13. 審判
 - 1) 東西ラウンド ブロック派遣、補助役員はチームが担当。
 - 2) 決勝ラウンド 全国派遣、補助役員は開催地が担当。